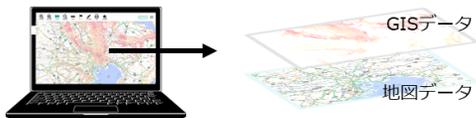


国土交通省では、土地利用、行政区域、災害リスク情報、公共交通、公共施設等の、国土に関する基礎的な地理空間情報をGISデータに整備し、国土数値情報として無償で提供しています。国土・地域計画策定における利用、民間でのビジネス利用や、研究等に幅広く活用されています。

GISデータとは

- GISデータは施設（点）、鉄道等の線状物（線）、指定区域（面・メッシュ）などについての位置情報（緯度・経度）に加え、それぞれの地物に関する属性情報（例：施設名や鉄道路線名等）を保有したデータ。
- GISソフトを用いることにより、地図の上に図形として表示し、属性情報を用いて必要な情報を抽出したり、他のデータと重ね合わせて空間的な分析を行うことができる。



主な整備済み項目（令和6年7月現在）

土地情報	土地利用、地価公示、用途地域、立地適正化計画区域など
水域・地形	河川、湖沼、ダム、標高・傾斜度 など
行政地域	行政区域、小中学校区、人口集中地区 など
防災情報	洪水・津波・高潮浸水想定区域、土砂災害警戒区域、避難施設 など
公共交通	鉄道、駅別乗降客数、バス路線、バス停、高速道路、空港、港湾 など
公共施設	市町村役場、学校、福祉施設、医療機関、都市公園 など
その他	人口推計メッシュ、位置参照情報 など

データの例

学校（点）



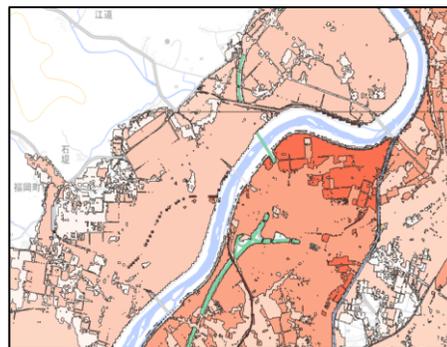
小中学校等の全国の学校を、点データとして整備。学校分類や学校名などの属性情報を持つ

鉄道（線）



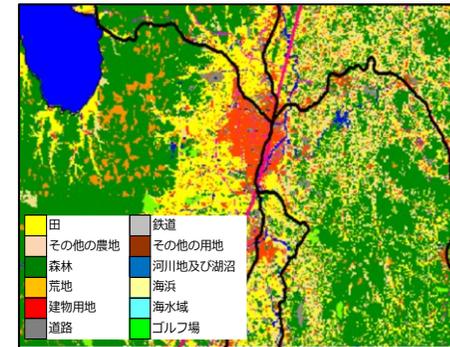
全国の鉄道路線を、線データとして整備。路線名や運営会社等の属性情報を持つ

洪水浸水想定区域（面）



河川管理者から提供された洪水浸水想定区域図を、面データとして整備。浸水深などの属性情報を持つ

土地利用（メッシュ）



衛星画像から判読できる全国の土地利用を100m四方のメッシュデータに整備。土地分類などの属性情報を持つ

- ・1974年から50年間継続的にデータ整備。
- ・2001年にダウンロードサイトを開設。一般ユーザー向けに無償公開
- ・2016年からshapeファイル形式に加え、WebGISで利用できるGeoJSON形式を提供開始
- ・近年ダウンロード数が急増 01年度 50万件 → 22年度 155万件 → **23年度 211万件**

1974年 国土数値情報の整備を開始

- ・国土計画の策定のためにデータ整備を開始
- ・公共機関や研究機関に限定して提供

2001年 ダウンロードサイトを開設

- ・一般ユーザー向けにオープンデータ化

2016年 データ形式の多様化

- ・WebGIS利用可能なデータ形式
(GeoJSON形式) での提供開始

2023年 これからの国土数値情報の検討

- ・「今後の国土数値情報の整備のあり方に関する検討会」の設置

